



## ECI方式(技術協力・施工タイプ)による工事発注について

鉄道・運輸機構では、『北海道新幹線、札幌車両基地高架橋工事』において、初めてのECI方式(技術協力・施工タイプ)による工事発注を行います。

鉄道・運輸機構では、本年10月より運用を開始したECI方式<sup>※1</sup>により『北海道新幹線、札幌車両基地高架橋工事』で初めて工事発注を行います。

令和4年1月中旬に公示を行い、令和4年5月頃に技術協力業務の協定を締結するように手続きを進めていく予定です<sup>※2</sup>。

当該工事は、高架橋上に新幹線の車両基地を構築する工事で、土木、建築、設備など複数分野の工事が輻輳するため、土木の高架橋と建築の防雪上屋を一体として検討するものです。

ECI方式を採用することにより、設計段階から施工者の意見を取り入れ、民間事業者の高度な知見を活用することにより、手戻りを防止し、工事を円滑に施工することが期待されます。

※1 本年10月1日プレスリリース「『新たな入札契約制度』を導入します」によるものです。

※2 契約手続きの状況により時期が変更になることがあります。

### <添付資料>

別紙『北海道新幹線、札幌車両基地高架橋工事』の概要(参考資料)

<本件に関するお問合せ先>

北海道新幹線建設局 総務課 電話 011-231-3456

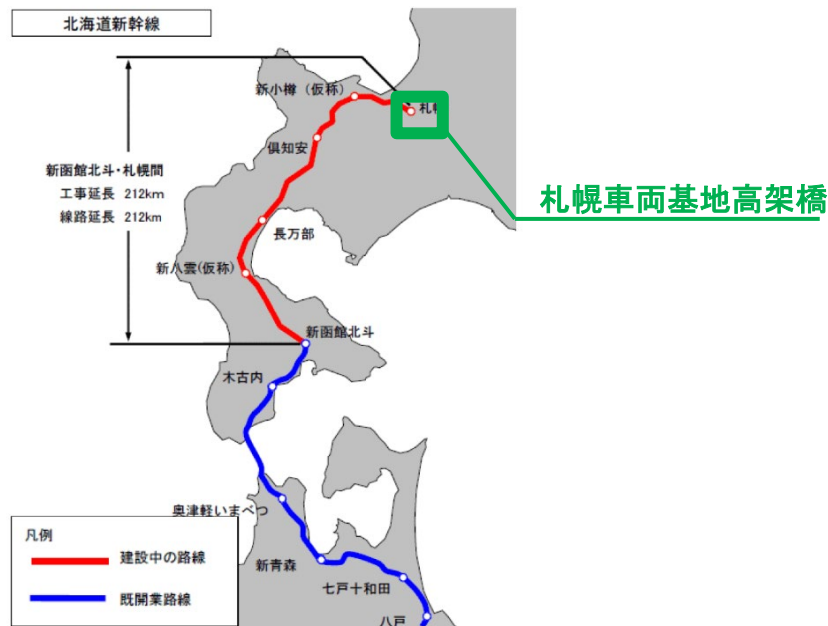
『北海道新幹線、札幌車両基地高架橋工事』の概要（参考資料）

注）本資料に記載している内容は予定であり、本工事の公告までに変更する可能性があります。

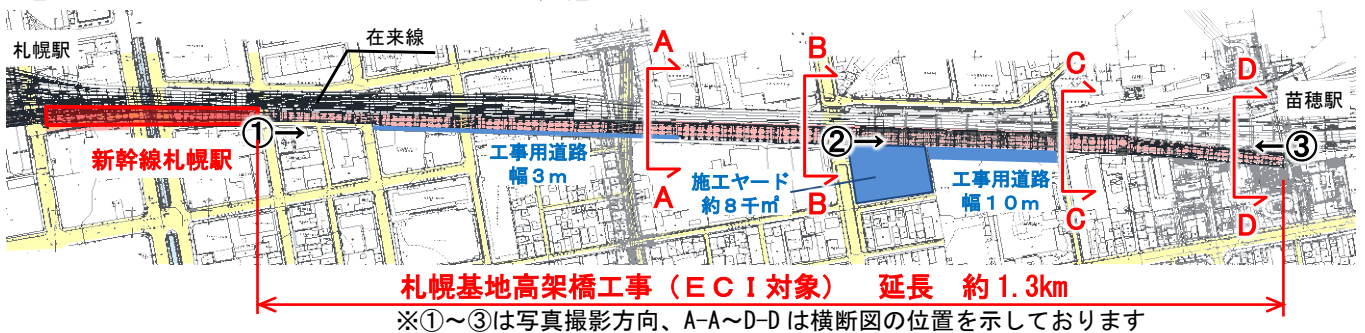
【工事概要】

- 北海道新幹線の車両基地高架橋及び上屋工事（延長約1.3km）の新設工事です。
- 以下の現場条件・施工条件から、ECI方式（技術協力・施工タイプ）を適用します。
  - 近接かつ平行する営業線と市街地に挟まれた狭隘な箇所での施工をします。
  - 施工ヤードが1箇所しかなく、工事用道路が設置できない区間があります。
  - 土木工事の終了後、建築工事により防雪上屋を構築する必要があるため土木工事の設計・施工に予め上屋構築を加味する必要があります。

【位置図】



【工事概要平面図・現地状況写真】



①車両基地始端付近  
（終点方を望む）

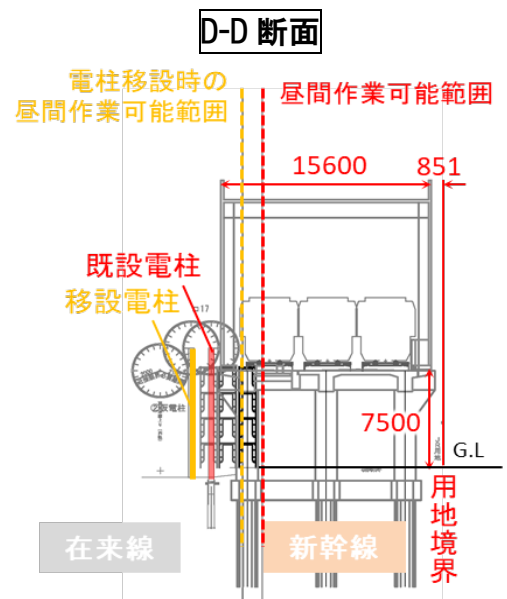
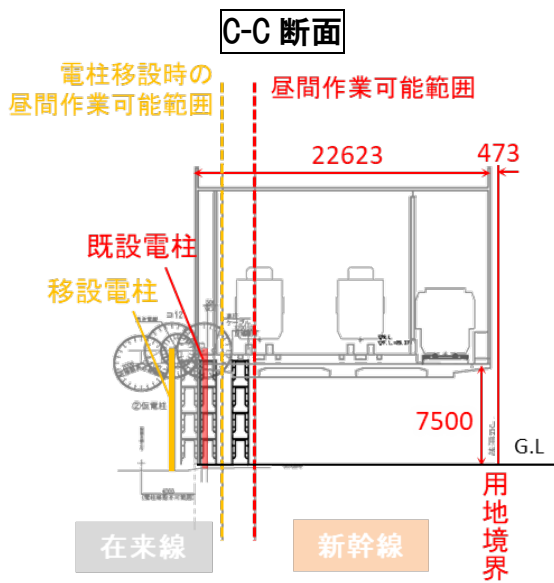
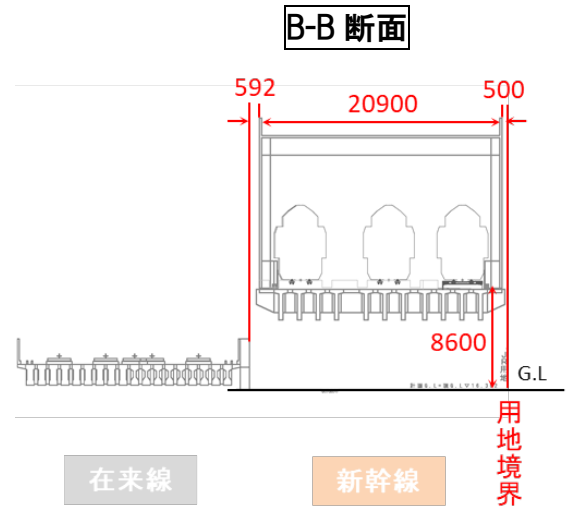
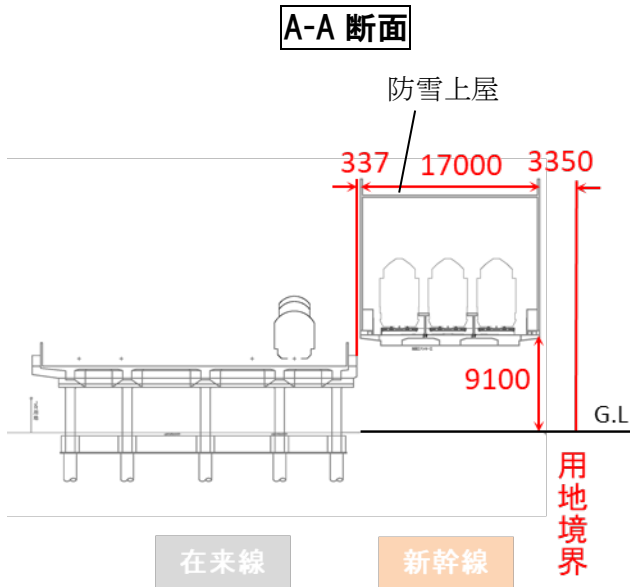


②施工ヤード予定地付近  
（終点方を望む）



③車両基地終端付近  
（起点方を望む）

【横断図】（工事概要平面図にて、位置を示しております）



## 【工事・業務概要】

工事（業務）名	北海道新幹線、札幌車両基地高架橋工事に係る技術協力業務	北海道新幹線、札幌車両基地高架橋
工事場所	北海道札幌市中央区北5条東地内～北3条東地内	
工期	令和4年5月頃から12か月間を予定	令和5年6月頃から令和10年3月までを予定
内容	技術協力業務：一式 ・現地踏査 ・技術提案 ・設計の確認 ・施工計画の作成 ・技術情報等の整理 ・全体工事費の算出 など	高架橋・橋りょう：延長1,340m 建築上屋・防雪上屋：24,500㎡ 上記に伴う仮設工事等

## 【技術提案評価（案）】

テーマ1 技術協力業務の実施に関する提案能力

- ①理解度
- ②実施手順及び実施体制

テーマ2 施工ヤードや近接条件等の制約を踏まえて令和10年3月の工事完了に有効な工法等の提案能力

- ①的確性
- ②実現性

テーマ3 施工時の安全の確保及び全体工程とコスト増加に影響を与えるリスクの管理についての提案能力

- ①的確性
- ②実現性

注）本工事の公告までに変更する可能性があります。